

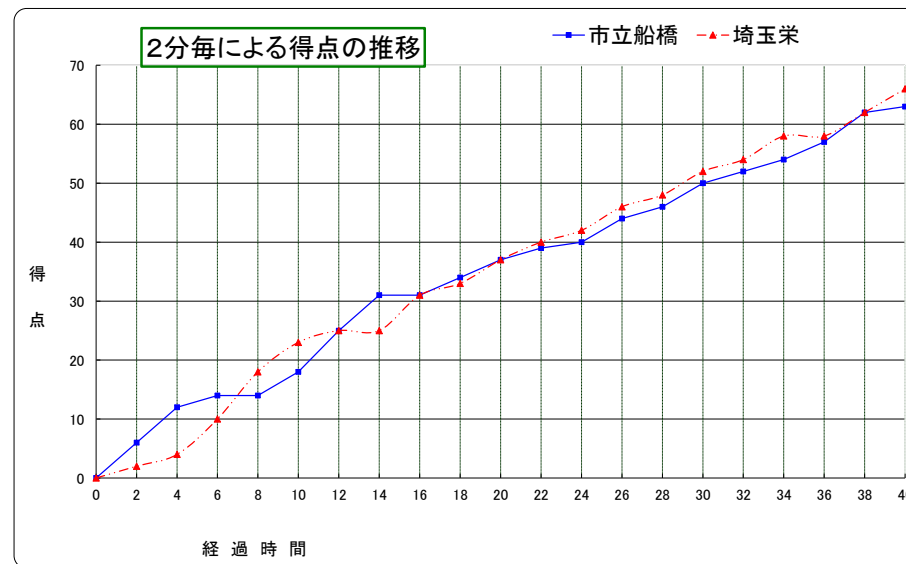
# 平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)  
毎日興業アリーナ久喜  
女子2回戦 C6

チームA			チームB
市立船橋 (千葉)	63	{ 18 1st 23 19 2nd 14 13 3rd 15 13 4th 14 }	66
		埼玉栄 (埼玉)	

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	小松 莉央	11	3	10	1	9	0	0	1	2	7	1	1	0	3
5	松本 渚	9	1	2	2	6	2	4	2	3	2	0	1	0	3
6	高橋 咲	19	1	8	7	9	2	3	1	2	7	4	3	0	2
7	北越 春香	14	0	5	6	11	2	2	4	3	5	1	5	0	5
8	高橋 琳香	0													
9	山下 莉奈	10	2	5	2	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0
10	鶴岡 さくら	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
11	津田 颯季	0													
12	塩川 琴音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	深瀬 百華	0													
14	三部 菜々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	島田 莉音	0													
16	黒川 楓	0													
17	内田 結貴	0													
18	小林 茜	0													
コーチ	高松 淳史														
		63	7	30	18	41	6	9	8	12	21	6	10	0	15
		確率	23.3%		43.9%		66.7%			計 33					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	大和 千夏	22	1	1	9	15	1	2	3	2	5	0	2	0	2
5	神山 夢来	11	0	2	5	6	1	2	2	3	6	1	2	0	5
6	平井 佑奈	10	2	5	2	4	0	0	0	0	1	0	2	0	3
7	石川 愛	18	0	0	9	22	0	1	4	1	15	1	3	2	6
8	田中 夢希乃	0													
9	伊藤 澄華	0													
10	大岩 真桜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	矢部 鈴奈	5	1	2	1	1	0	0	2	0	1	0	5	0	4
12	原 奈生子	0													
13	市原 知華	0													
14	山下 弥桜	0													
15	高橋 理佐	0													
16	加賀谷 すみれ	0													
17	渡邊 はるる	0													
18	五十嵐 美玲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
コーチ	一ノ瀬 和之														
		66	4	10	26	48	2	5	11	6	30	2	14	2	21
		確率	40.0%		54.2%		40.0%			計 36					



## 戦評

第1P 両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。高さに勝る埼玉栄は#4#7のポストにボールを集め、インサイド中心に攻めていく。市立船橋は#6の連続ドライブイン、#7の合わせなど中に切り込み、#5#9の連続3pで外からという中外バランス良く攻め、リードする。埼玉栄は#4#7のポスト中心に攻め、#4のピック&ロール、#7のゴール下バスケットカウントで繋ぎ、#6#4の3pが連続して決まり逆転する。市立船橋は#7が1対1を仕掛け、外からのジャンプシュートとリバウンドで得点するが、埼玉栄#6の2本目の3pが決まり、リードを保つ。23-18埼玉栄リードで終了。

第2P 埼玉栄はピックセンターの#7にボールを集めようとするが、ポストインパスがミスとなり得点に結びつかない。市立船橋は#9の3p、#5の合わせなど連続得点で逆転に成功する。残り5分、4点差となったところで埼玉栄がタイムアウト。その後埼玉栄は徹底したインサイド攻撃を仕掛け、#7のローポストアタック、#4のゴール下、#5のゴール下の合わせで得点を重ねる。対照的に市立船橋は外からの攻めが多くなり、#4が3pを連続で決めて同点とする。37-37同点で前半終了。

第3P お互い重い時間が続き、埼玉栄は#7のゴール下シュート、市立船橋は#7のドライブインで得点する以外、得点が伸びない。埼玉栄が#7のポストアタック、#4の速攻が決まり4点差としたところで市立船橋が後半1回目のタイムアウト。埼玉栄#7のポストに対して市立船橋はダブルチームを仕掛けるが、#4への合わせがきれいに決まる。市立船橋は#6#9が外から射抜き、点差そのままについていく。埼玉栄はターンオーバーが続くが、市立船橋の外のシュートも入らず、点差が縮まらない。52-50埼玉栄リードで終了。

第4P 一進一退の攻防が続き、埼玉栄は#5のドライブイン、#7から#4への合わせでリードする。市立船橋は#7の1対1の個人技で繋ぎ、残り7分で埼玉栄が後半1回目のタイムアウト。その後市立船橋の#4#6の連続3pが決まり、#6の速攻が飛び出し同点に追いつく。残り1分となったところで埼玉栄#11が値千金の3pを決め、リードする。残り6秒3点差、市立船橋エンドスローで埼玉栄がタイムアウト。6秒で3pを2本打つが決まらずタイムアップ。66-63で地元埼玉栄が勝利し、ベスト4に駒を進めた。

記入者 伊澤 暁